

外部評価進行管理対象事業一覧（外部評価に係るフォローアップ参考資料） -平成27年度末の状況-

※（進捗状況）◎：完了，○：取組中，△：取組予定

評価年度	事業名	担当課	外部評価		市の方針		進捗状況
			提言	根拠及び対応	判断	提言に対する市の取組状況	
26	各種スポーツ教室開催事業	生涯学習課	廃止	参加者が少なく、魅力的なメニューがない。	廃止	平成27年度から、一旦、事業を廃止しました。	◎
				参加後の継続的な活動に貢献しているか不明である。			
				以上のことから、一旦廃止して、事業を再構築してほしい。			
				再構築の際には、水泳に特化せず、体育協会や民間企業、その他NPO団体と連携して、各種教室を検討してほしい。また、効率性を高めてほしい。		スポーツ推進委員活動事業に体づくり講習会講師謝金を計上、スポーツ推進委員などの意見を参考に事業を計画します。	○
				事業内容を教室開催に留めず、参加後の後続活動まで視野に入れること。		総合型スポーツクラブとの連携が十分ではないため、今後も検討を継続します。	○
26	自然体験教室事業	生涯学習課	廃止	参加者が少なく、魅力的なメニューがない。	廃止	平成27年度から、一旦、事業を廃止しました。	◎
				参加後、子どもの成長に貢献しているか不明である。			
				以上のことから、一旦廃止して、事業を再構築してほしい。			
				再構築の際には、NPO団体等と連携して、もっと効率性を高めてほしい。		事業の目的、必要性などを社会教育委員の会議で検討していただくなど再構築を進めます。また、冒険遊び場事業との連携など後続活動につながるよう協議します。	△
				事業内容を教室開催に留めず、参加後の後続活動まで視野に入れること。			
26	社会教育委員の会議開催事業	生涯学習課	見直し	委員数20名は、多過ぎて議論の効率性を欠くため、委員数を大幅に削減すべきである。	見直し	平成28年度から委員数を20名から15名に削減しました。	◎
				社会教育委員の役割と責任を明確化してほしい。			
				毎回の会議の目的をはっきりさせ、会議の成果を明確にすること。			
				社会教育委員は、社会教育に関わる責任のある提言を行うよう努めてほしい。			
				生涯学習関連の審議会等の関係性を明かし、当該会議の役割を明確にすべき。		社会教育委員の会議には、社会教育諸計画の立案のほか、市の社会教育を推進するための課題を自ら建議し、市民に発信していくことを求めています。平成28年3月には「社会教育関係団体の活性化について」の提言書が提出され、今後、サークル、各種団体に向けたハンドブックを作成します。提言を参考に今後の社会教育活動の活性化につなげ、市民の参加を促進します。	◎

外部評価進行管理対象事業一覧（外部評価に係るフォローアップ参考資料） -平成27年度末の状況-

※（進捗状況）◎：完了，○：取組中，△：取組予定

評価年度	事業名	担当課	外部評価		市の方針		進捗状況
			提言	根拠及び対応	判断	提言に対する市の取組状況	
26	生涯学習推進事業	生涯学習課	廃止	本事業の趣旨には賛同するが、現状の事業内容では、趣旨とかけ離れており、大きな改善も見込めないことから、一旦廃止とする。	廃止	平成27年度から、一旦、事業は廃止しました。	◎
				但し、生涯学習推進事業として、現在の事業とは別の形で、事業名にふさわしい事業を新規に立ち上げてほしい。		新規事業として再構築することだけでなく、既存事業との統合も再構築の手段となるため、スポーツ、文化の振興を目的とした既存事業（スポーツフェスティバル、公民館まつり等）の中で、それらに親しむ市民が増えるよう、社会教育委員、スポーツ推進委員等の意見を参考にして、平成29年度後半を目途に事業を計画します。	○
26	守谷市美術作家展事業	生涯学習課	統合	芸術祭事業、もりや夢の舞と響事業、文化協会補助事業などとの統合により事務作業の効率化を図るとともに、守谷市の全市的な一大芸術イベントとして一体的にプロモーション戦略が練られるべきである。	見直し	事業の統合は困難であるものの、一体的なプロモーションができるよう、それぞれの実行委員会に働きかけます。 また、平成28年度には、市民参加型のワークショップを実施しました。今後も、出展する人・見る人の両方が楽しめるイベントを展開していきます。	○
26	守谷市夢の舞と響事業	生涯学習課	統合	芸術祭事業、もりや夢の舞と響事業、文化協会補助事業などとの統合により事務作業の効率化を図るとともに、守谷市の全市的な一大芸術イベントとして一体的にプロモーション戦略が練られるべきである。	見直し	事業の統合は困難であるものの、一体的なプロモーションができるよう、それぞれの実行委員会に働きかけます。 なお、事業主体について、文化協会への移管を検討しています（現在は文化協会と共催）。	○
26	スポーツ・文化振興奨励事業	生涯学習課	見直し	顕著な功績を挙げた市民に対する顕彰事業としては継続する。また、他の顕彰事業との公平性・一貫性を考慮することが必要	見直し	スポーツ少年団に対する交通費等の助成をスポーツ少年団補助事業に組み入れ、透明性の確保を図りました。	◎
				ただし、新規事業として立ち上げる生涯学習推進事業の中にスポーツ・文化振興奨励事業として、統合すべき。		新規事業として再構築することだけでなく、既存事業との統合も再構築の手段となるため、スポーツ、文化の振興を目的とした既存事業（スポーツフェスティバル、公民館まつり等）の中で、それらに親しむ市民が増えるよう、社会教育委員、スポーツ推進委員等の意見を参考にして、平成29年度後半を目途に事業を計画します。	○
				この新規事業においては、スポーツや文化に親しむ市民を増やすという裾野拡大の方向をしっかり打ち出してほしい。			
26	いばらき若者塾参加補助事業	生涯学習課	廃止	事業実績がない。	廃止	平成27年度から廃止しました。	◎
				若者にとって魅力的な事業ではない。			

外部評価進行管理対象事業一覧（外部評価に係るフォローアップ参考資料） -平成27年度末の状況-

※（進捗状況）◎：完了，○：取組中，△：取組予定

評価年度	事業名	担当課	外部評価		市の方針		進捗状況
			提言	根拠及び対応	判断	提言に対する市の取組状況	
26	大野地区公民館運営事業	生涯学習課	廃止	他地区住民との公平性が保たれていない。 廃止はできるだけ速やかに行っていただきたい。 老朽化した施設維持の追加支出は認められない。 各自治会の集会所が整備されている。	見直し	平成28年度から講座事業の予算は廃止しました。施設については、子どもたちに本を貸し出す地区文庫としても利用されており、大規模修繕が必要となるまでは使用する考えです。廃止することについての対応は、地域の運営協力員と協議して、平成29年度までに方向性を出せるように検討します。	○
26	守谷市・常総市・坂東市ハンドボール競技振興会負担金（H28から「国民体育大会開催事業」に名称変更）	生涯学習課	見直し	市民にとって、この事業を行うことでどのようなメリットがあるのか説明すべき。	見直し	市民が様々な角度から国体を盛り上げていけるような体制を作り、ボランティアスタッフや応援スタッフとして参画することで、市民相互の交流や市民活動の活性化につながります。市民参加による大会開催に向け、市を挙げて全国から訪れる方を歓迎できるような市民の気運を高めるとともに県やスポーツ少年団と連携し、ハンドボール教室等を開催するなど、スポーツの振興を図っていきます。 さらに、国体開催を市のPRや集客へとつなげられるような事業を検討していきます。 また、国体を開催することにより、常総運動公園総合体育館は、会場設備基準を満たさなければなりません。この基準をクリアするために平成29年度にアリーナの改修を行う予定です。会場を整備することにより、国体開催後も安全で快適な環境でスポーツ活動ができます。	○
				事業目的、成果を明確にすべき。		3市から各2名を配置し、学びの里に国体準備準備委員会事務局を設置しました。準備に係る業務を一括して行います。適切・効果的な事業実施、支出がされているかを確認するとともに、各市の会計管理者及び代表監査委員が監査し、支出項目の適正管理を行います。	◎
27	雑草除去事業	生活環境課	継続的発展	雑草除去だけでなく、空き家問題や独居老人の問題と絡めた上で、事業を拡張すべきである。	継続		
27	環境美化の日事業	生活環境課	統合		統合		

外部評価進行管理対象事業一覧（外部評価に係るフォローアップ参考資料） -平成27年度末の状況-

※（進捗状況）◎：完了，○：取組中，△：取組予定

評価年度	事業名	担当課	外部評価		市の方針		進捗状況
			提言	根拠及び対応	判断	提言に対する市の取組状況	
27	利根川河川敷環境保全事業	生活環境課	統合		統合		
27	不法投棄対策事業	生活環境課	統合		統合		
27	ポイ捨て等防止事業	生活環境課	統合	清掃する人，放置自転車の管理をする人，その他ボランティアの人たちと連携を図る。	統合		
27	公害対策事業	生活環境課	統合・再構築	事業内容が公害の実態調査にとどまっている。	統合・見直し		
27	地球温暖化防止実行計画運用事業	生活環境課	統合・再構築		統合		
27	放射線対策事業（消費者）	経済課	統合・見直し		統合・見直し		
27	環境啓発推進事業	生活環境課	統合・再構築		統合		
27	放射線対策事業（環境）	生活環境課	統合・見直し	「放射線対策事業（消費者）」と統合した上で，市民の不安を解消できるような事業内容に変えてほしい。	統合・見直し		
				当面のところは事業を残し，放射線の状況が落ち着いたら，他の環境啓発事業に統合すべきである。	統合		
27	資源物回収報奨金事業	生活環境課	統合・再構築		統合		
27	廃棄物減量等啓発事業	生活環境課	統合・再構築	市民へのPRがないので，内容を見直し，中身のあるものへの転換を求める。	統合		

外部評価進行管理対象事業一覧（外部評価に係るフォローアップ参考資料） -平成27年度末の状況-

※（進捗状況）◎：完了，○：取組中，△：取組予定

評価年度	事業名	担当課	外部評価		市の方針		進捗状況
			提言	根拠及び対応	判断	提言に対する市の取組状況	
27	リサイクル伝言板事業	生活環境課	統合・再構築	市でできるリサイクル事業としては，拡大も検討。	統合		
				伝言板事業としては，NPO等の民間活力に委ねるか廃止が妥当である。	統合		
27	生ごみ処理機等補助事業	生活環境課	統合・再構築		統合		
27	コミュニティコンポスト事業	生活環境課	廃止	生ごみ堆肥化事業にシフトすべき。	廃止		
27	緑化啓発推進事業	都市計画課	統合		一部統合		
27	公園まちづくり団体助成事業	建設課	統合	事業内容が緑化推進啓発事業（公園里親事業）と重なるところが多い。	統合		
27	景観形成推進事業	都市計画課	統合・強化		統合		
27	屋外広告物管理事業	都市計画課	統合・強化		統合		
27	森林愛護運動推進事業	経済課	統合	事業の規模が小さく，対象が限定されている。	統合		
27	緑地管理事業	経済課	統合	事業内容が管理のみ。	見直し		